



# 令和3年 早岐地区自治協議会だより



## 自治協議会の充実を目指して

早岐地区自治協議会  
会長 横尾英彦

晩秋の候、早岐地区の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、残念なお知らせですが、令和4年新春における「早岐地区新年交歓会」の中止を令和3年11月12日開催の第3回理事会にて決定致しました。令和元年12月に中国武漢市で最初の新型コロナウイルス感染者が報告されてから約2年、感染症は生命・生活に大きな影響をもたらしましたが、現在は一応の落ち着きを見せております。緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置も9月30日をもって全都道府県で解除され、長崎県下では11月7日現在、ワクチン2回接種率は75.2%となり、感染者数を数えない日も増えております。

状況の改善が見られ、「社会活動及び経済活動の積極的再開に舵を切る」、「緩やかに活動を再開し感染状況との関連性を見極める」など多様な考え方があることも認められましたが、第六波の懸念を払拭できている状態ではなく、佐世保市と佐世保商工会議所及び相浦地区自治協議会と日宇地区自治協議会も中止と判断したことを受け、関係団体の判断に倣うことが賢明であるとの結論に至りました。防犯・防災フェスティバル、体育大会、早岐文化祭も中止し、新年交歓会も2年連続の中止と非常に残念なことでありますが、住民の健康を第一と考えれば、決定にご理解頂けるものと存じます。

ワクチン接種が進んでも、感染の再拡大への懸念は残っています。治療薬が完成しても万能ではありません。三密を避けマスクをする、手洗い、うがい、換気を励行するなど約2年の間、私たちは行動変容をしてきました。今後も一人ひとり健康に留意してコロナ禍を乗り切り、令和4年が素晴らしい年となるよう祈願しております。

今後も早岐地区がさらに安全安心な街となるよう行政との連携を深めて参りたいと思いますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

早岐地区自治協議会

佐世保市早岐1丁目6-38 早岐地区コミュニティセンター内

お問い合わせ TEL/FAX 38-2213



## ○長寿部会の活動について

長寿部会 部会長 奥菌 明敏



地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
日頃から、長寿部会の運営・活動に対して温かいご理解とご協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

長寿部会は、早岐地区老人クラブ連合会と早岐地区包括支援センターを主体として平成30年3月に、早岐地区自治協議会の部会として発足いたしました。

活動の目的は、『生涯学習の充実と生きがい対策』各町老人クラブ間の連携と親睦としています。活動は、健康増進の活動、生きがいを高める活動、友愛活動や社会に奉仕する活動に積極的に取り組んでいます。

講演会・研修会等を通じて研鑽を積むとともに、舞踊、民謡、コーラスなどの趣味活動発表により会員相互の親睦と交流をふかめながら、老人福祉の一層の増進を図りたいと考えています。

これまで、コロナ感染予防対策で自粛生活が続いておりますが、ワクチンの接種が進んでいます。これからの「新しい生活様式」に切り替えて、フレイル予防で健康寿命をのばしましょう。

「健康・友愛・奉仕」の活動を積極的に推進し、高齢者が安心して暮らしていける地域づくりに努めていきたいと思っております。

## ○令和3年度 早岐地域精霊流し(8月15日)

◇人出	4,250人(4,560人)	( )内は令和2年度実績
◇精霊船	2m未満 56隻(68隻)	
	2m以上 10隻( 3隻)	
1◇菰	1,420個(1,520個)	

令和2年度と同様に、新型コロナウイルスの影響を受け、従来より人出、精霊船、菰は減少している。



精霊流し 人出



精霊流し 精霊船・菰